



・・・総務委員会だより・・・

広島県バウンドテニス協会 NO.32 2005年7月21日(木)

一気に梅雨明けして・・・待ちかねたようにあっちこちでせみが鳴き始め、いよいよ夏本番！！連日の30度を超える真夏日にすっかりうだっしまいそうですね。
みなさん これからの厳しい暑さに負けないよう、しっかり体調管理をしてくださいね。

第23回全日本バウンドテニス選手権大会

7月10日(日)、11日(月)の2日間 東京体育館で全国各地の代表選手 ダブルス232組、シングルス440名が熱き戦いを繰り広げました。

今回、広島県の女子は残念な結果に終わってしまいましたが、男子はダブルスのフリーとシニア、そしてシングルのシニアの部でシード獲得！！男子ダブルスシニアの決勝では、広島県同士(シードペアと代表ペア)の対戦となりました。が・・・広島県の応援者はきっと決勝戦よりも準決勝戦での応援に力がいったのでしょね。残念ながら負けちゃったけど、とっても惜しい試合もたくさんあって、全国大会に出場される選手はみんなレベル伯仲なのですね！

途中のアクシデントにも負けず最後まで試合をあきらめなかった人、負けはしたが満足のいく試合ができた人、来年への目標を新たに抱いた人などさまざまですが***ほんとお疲れ様でした。

【主な成績結果】

ダブルス	男子フリー	3位	大東 智樹、柴田 健次(シード)
	シニア	優勝	青木 司、浜崎 重道(シード)
		準優勝	立畠 昭、多田 利夫(シード)
シングルス	男子シニア	優勝	立畠 昭(シード)

日本バウンドテニス協会 会議報告

7月9日(土)ヤクルト本社にて全日本BT選手権大会前日に第3回理事会と都道府県事務局担当者会議が行なわれ、理事会に磨井祥夫、事務局担当会議に金山律江が出席いたしました。

理事会報告

(1)各都道府県の普及状況報告がされ、JBTAとして普及に関しての方針3点が挙げられた。

ターゲットを絞る 市区町村協会(支部協会)の設立 全国規模大会への積極的な参加
特に 項目にねんりんピック、マスターズの大会が挙げられるが、2006年に広島で開催されるマスターズにJBTAとしては参加意欲があったにもかかわらず参加中止となった。

(2)JBTA規約に日本体育協会からの要望により、次の3項目が加えられることとなった。

スポーツ仲裁機構 アンチドーピング 個人情報保護

事務局担当者会議報告

理事会報告および愛好者拡大のテーマに基づきバウンドテニスの各都道府県普及状況が報告された。また、JBTAに対する国体への参加要望には、今後デモンストレーションおよび公開競技への参加を努力していきたい。との回答があった。

2006年10月22日~24日 スポレク鳥取、10月28日、29日 ねんりんピック静岡